

令和6年度危険物事故防止対策論文

事故防止調査研修センター

安全で快適な社会づくりに向けて危険物に係る事故の防止に役立てることを目的として、事故防止に係る提案、提言等を広く募集しておりました「令和6年度危険物事故防止対策論文」の消防庁長官賞、危険物保安技術協会理事長賞、奨励賞の著者の方々に対する表彰が、令和7年6月9日（於ニッショーホール）にて執り行われました。

この表彰式は、危険物を取り扱う事業所における保安体制の一層の充実や、国民の皆様の危険物の保安に関する意識の向上を目的とした、危険物安全週間の行事の一環として、「危険物安全大会」の中で行っております。

表彰に先立ち、池田達雄消防庁長官より式辞が有りました。はじめに、大船渡市や岡山市、今治市で発生した大規模な林野火災により、甚大な被害が発生し、被災された方々に心よりお見舞い申し上げ、消防庁としましては国民の皆様が安心して暮らせるように引き続き消防防災力の強化に努めてまいりますと述べられました。

続けて、本日表彰を受けられる皆様方は、これまで危険物の保安に努めてこられた方々であり、そのご功績に対し、深く敬意を表されました。

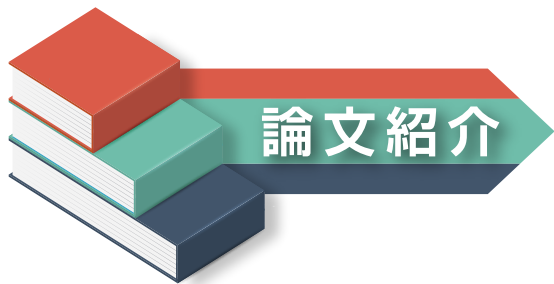
危険物施設に目を向けますと、昨年発生した能登半島地震に伴う重大事故の発生はありませんでしたが、平時から災害に対応するためのハード面における対策の実施や、被害を最小限にするための訓練等を通じた習熟度の向上によるソフト面の充実を図ることが重要であり、危険物施設の事故を未然に防ぐためには、現場においてリスクを把握し、適切に操業・維持管理を行うことのできる人材を育成することが必要不可欠で、熟練者の保安に関する知識・技術を受け継ぎつつ、危険物取扱者の保安講習等を通じて教育を徹底することが重要だと述べられました。さらに、施設全体のリスクアセスメントを適切に行い、企業として保安確保に向けたマネジメント体制を充実させること、定期点検や日常点検の充実を担保していくことが不可欠であり、受賞者の皆様方には、今後も危険物保安体制の一層の強化と地域社会の安全確保に向けて引き続きご尽力いただきたいとの言葉が贈られました。

つきましては、危険物の事故防止対策の参考としていただくため、各賞を受賞されました5編の論文をご紹介しますとともに、受賞された5編の講評を掲載いたします。

また、当協会ウェブサイト業務説明の「危険物事故防止対策論文」(<https://www.khk-syoubou.or.jp/guide/paper.html>)には、現在までの「受賞論文」をご紹介しますので、併せてご参照ください。



危険物事故防止対策論文受賞者



令和6年度 危険物事故防止対策論文表彰記念 危険物事故防止対策論文に対する講評

消防庁長官賞

【論文標題】 給油取扱所に係る事故防止対策についての提言

【講 評】 給油取扱所は私たちの身近にあり、多様な人々が利用する危険物施設であることから、その危険性を熟知しない利用者の事故防止は重要な課題である。本論文では、最近の給油取扱所における事故の発生状況を踏まえた事故防止に向けた取組例を紹介するとともに、より効果的な事故防止対策の検討を行い、その結果に基づく提言がされていることが評価された。

前述の事故防止対策の検討では、固定給油設備の安全継手が作動した事故事例に着目し、最近の破損事例について FTA による発生原因の分析を実施したうえで、現状の設備でも実施可能な方策の他に、今後、導入が見込まれる AI システムがこの種の事故の防止に寄与することの可能性にも言及されており、給油取扱所における事故防止に極めて有効であると思われる。

危険物保安技術協会理事長賞 (2編)

【論文標題】 コンビナート製造現場中核人材事業－事業発足の経緯と 17 年間の運用実績－

【講 評】 保安安全の核となる人材育成について、産業界と大学とがコンソーシアムを構成し、各社がノウハウを出し合いながら Know-Why に重点を置いた教育プログラムを設定し、協力体制を構築していることが評価された。

また、この事業が 17 年間にわたり自立的に継続運営されてきた実績は、この取組の有効性の証であり、他の石油コンビナート地区等においても参考となる事例と思われる。

【論文標題】 石油コンビナートでの事故がなぜ増え続けるのか!? その背景にある課題を探す
～事業所ヒアリングを踏まえて得られたもの～

【講 評】 石油コンビナートにおける事故増加の背景に潜む要因を検討することを目的として、立入検査と併せてオンライン調査を実施し、現場の「肌感覚」から現状把握を試みるというユニークなアプローチが評価された。

また、その分析結果より行政の立場から指導すべき内容を提言として明確に示されている点も良かった。

奨励賞 (2編)

【論文標題】 基本と手順を作業時に具体的に実行する研修指導の難しさへの対応

【講 評】 危険物取扱現場における研修指導の課題を示し、手順書や研修指導の進め方の改善に向けた考え方や具体的な取組内容について示されていることが評価された。

【論文標題】 噴射剤を含む危険物の試験前処理手法に関する研究について

【講 評】 スプレー缶内の噴射剤以外の成分について、危険物判定を行う方法を示し、科学的な考察を加えて提案するとともに、実用化に向けた課題も示されていることが評価された。